## 8/28 水を学び　水を考える一日
～上下水道展～

▶缶バッチ作成に熱中する子どもたち

あらおシティモール内の「であいの広場」で上下水道展を開催しました。マンホールふたの展示、汚泥肥料と花苗の無料配布、企業局のマスコットキャラクター：あらぞうくんの缶バッチ作成・ぬり絵コーナーや、熊本地震に関する上下水道関係の写真展示などのパネル展示を行い、多くの人が足を止め、見入っていました。特に、膜ろ過装置のミニ装置、水処理実験や微生物の観察などの実験には子どもたちも興味津津で、真剣な表情で説明を聞いていました。

## 9/10 闇夜に灯る明かり　響く太鼓の音
～上井手夜燈祭り～

▶五穀豊穣や家内安全を祈り、上井手神社に向かう夜燈の行列

400年以上の歴史がある上井手夜燈まつりが行われました。

上井手上は白装束、上井手下は黒装束をまとい、「諸願成就」と書かれた行灯を掲げ、高張り提灯とともに上井手神社（唐崎宮）を目指し、暗闇の中を練り歩きました。

会場では、楽の奉納、仕掛け花火や松札を使った抽選会などが行われ、境内いっぱいに人が集まっていました。子どもをはじめ高齢者まで歓声を上げ、祭りは盛り上がりを見せていました。

## 9/11 子どもたちの健やかな成長を願う
～西原大神宮秋季例大祭　にしばるさん～

▶子の健康を一番に願う親の心はいつの時代も変わりません

西原大神宮で「にしばるさん」は行われました。にしばるさんは子どもの神様として信仰され、子どものひきつけ、夜泣きなどにご利益があるとされています。神の使いである鶏の絵に子どもの年齢と名前を書いて奉納する習わしでも有名です。家族で参拝に来ていた山下さん一家（熊本市西区）は、「結婚して初めての子どもが生まれたので参拝に来ました。生まれてすぐに熊本地震を経験した子なので、元気にたくましく育ってくれることを願いました」と話していました。

## 9/13 福銭の　五円がつなげる　良いご縁
～四山神社秋季例大祭　こくんぞさん～

▶4人の子どもたちの息の合った舞が奉納されました

四山神社でこくんぞさんが行われ、福銭を求め、たくさんの参拝客でにぎわいました。境内で授けられる五円は、「ご縁」に通じ、縁結び・金運などにご利益があるとされています。子どもたちによる、浦安の舞と豊栄の舞の奉納も行われました。浦安の舞を奉納した山代菜々美さん（大牟田中1年）、松枝心花さん（明光学園中1年）は、「しっかり練習して臨みました。みんなで息を合わせて踊れたのでよかった。今後も踊り続けていきたいです」と意気込みました。

## 9/17 元気な高齢者はまちを明るくします
～敬老大会～

▶元気な高齢者の歌や踊りに、会場は盛り上がりを見せていました

荒尾市老人クラブ連合会と荒尾市の共催で、敬老大会を文化センターで開催しました。式典の部では、ことし市内で米寿を迎えた371人を表彰し、山下市長が祝辞を述べました。また、老人クラブ連合会の功労者表彰も行われました。アトラクションの部では、保育園児の遊戯の後、各地区代表者による歌や踊りが披露されました。人気イベントの福引きで特別賞が当たった幡中光子さん（菰屋）は、「初めて当たって嬉しい。来年も元気で大会に参加したいですね」と興奮した様子でした。

## 9/18 気持ちでつかんだ栄光の銅メダル
～乗松さんリオパラリンピックに出場～

▶10月21日、報告会が行われました。次号でその模様をお届けします。

牛水上在住の乗松聖矢さんが、リオデジャネイロパラリンピックのウィルチェアーラグビー日本代表として出場し、見事銅メダルを獲得しました。8月18日に市役所で行われた壮行会では、「皆さんの思いを背負ってメダルを持って帰りたい」と意気込んでいた乗松さん。準決勝ではオーストラリアに惜しくも敗れ、3位決定戦へと進みました。強敵であるカナダとの戦いでしたが、乗松さんの攻守にわたる活躍もあって堂々の銅メダル獲得となりました。

## それいけ！　我らスポーツ少年団

このコーナーでは、市内で活動中のスポーツ少年団を紹介します。

### No.10　ジュニア卓球クラブ

**基礎を徹底し、全国レベルの選手を育成**

小学2年生1人、6年生1人の合計2人で活動し、月・水・金の週3回練習しています。ことしで創設33年目を迎えました。卓球の基本的動作（打ち方・フォームなど）の習得を第一に指導していて、中学・高校生になって全国大会へ出場する選手を20人以上輩出しています。　二木颯太君（銀水小6年）は「オリンピックの男子卓球を見てやりたいと思った。中体連で優勝できる選手になりたい」と笑顔を見せ、白石琥珀君（八幡小2年）は「フォームを習得し、狙い通りに打てるようになりたい。小学3年生での大会では優勝します」と目を輝かせました。

問田中（代表）　☎62-3604